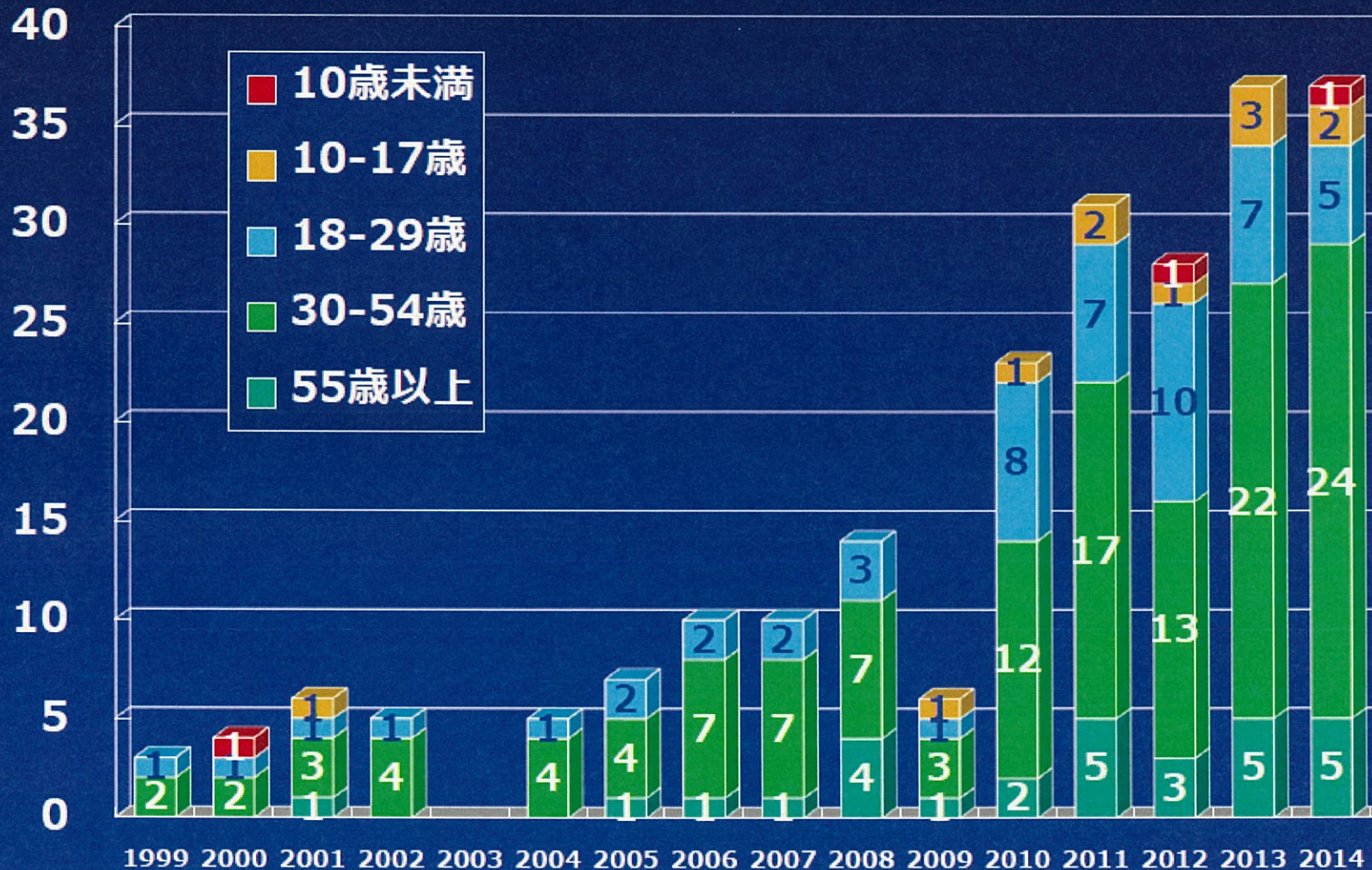


心臓移植件数の推移

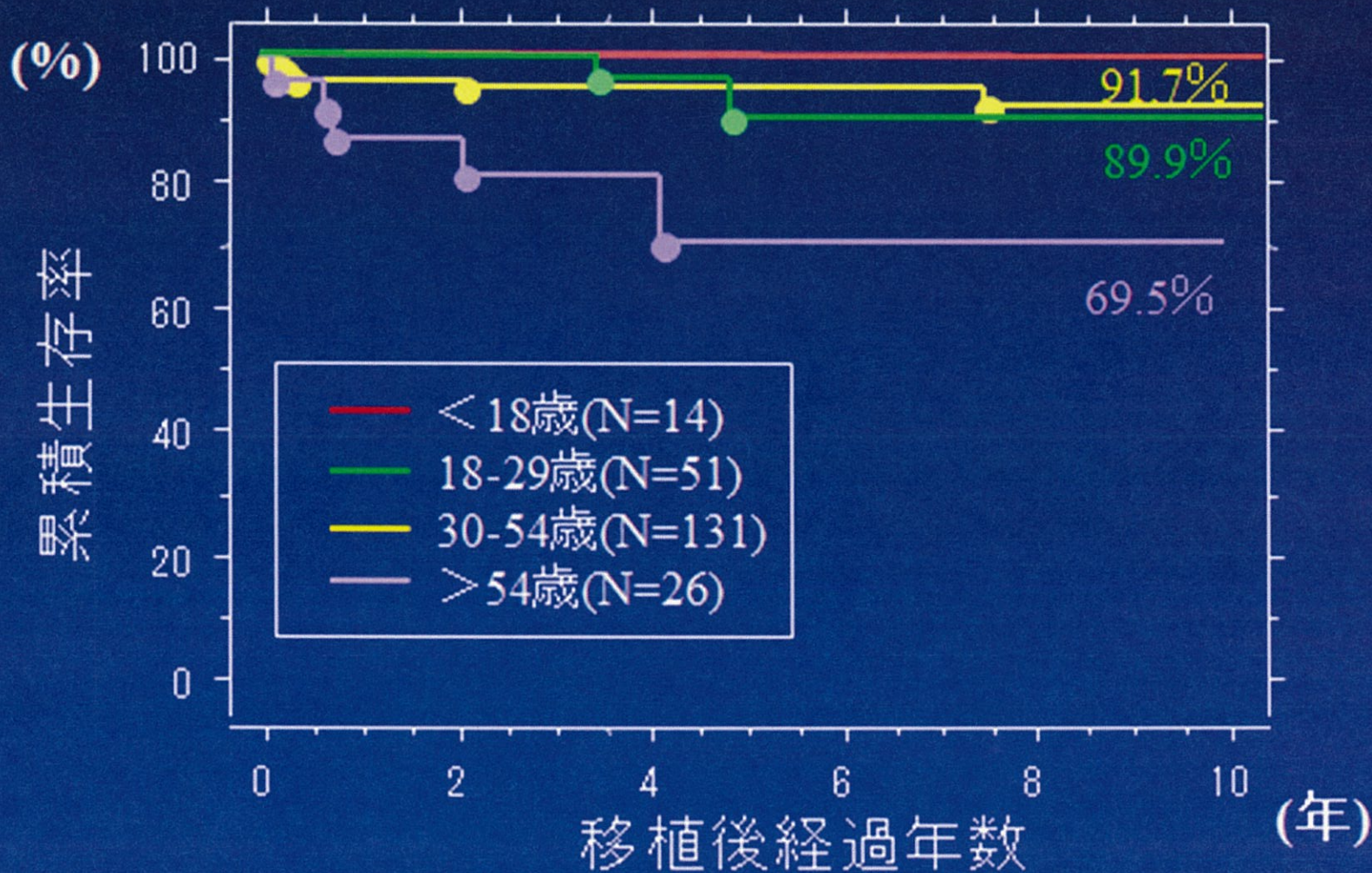
(2014.12.31)



第43回臓器移植委員会
平成27年7月30日

参考資料2-1

心臓移植の生存率 (N=222) 年齢別



第43回臓器移植委員会
平成27年7月30日

参考資料2-2

本邦における小児移植患者の予後について (成人患者との比較検討)

対象

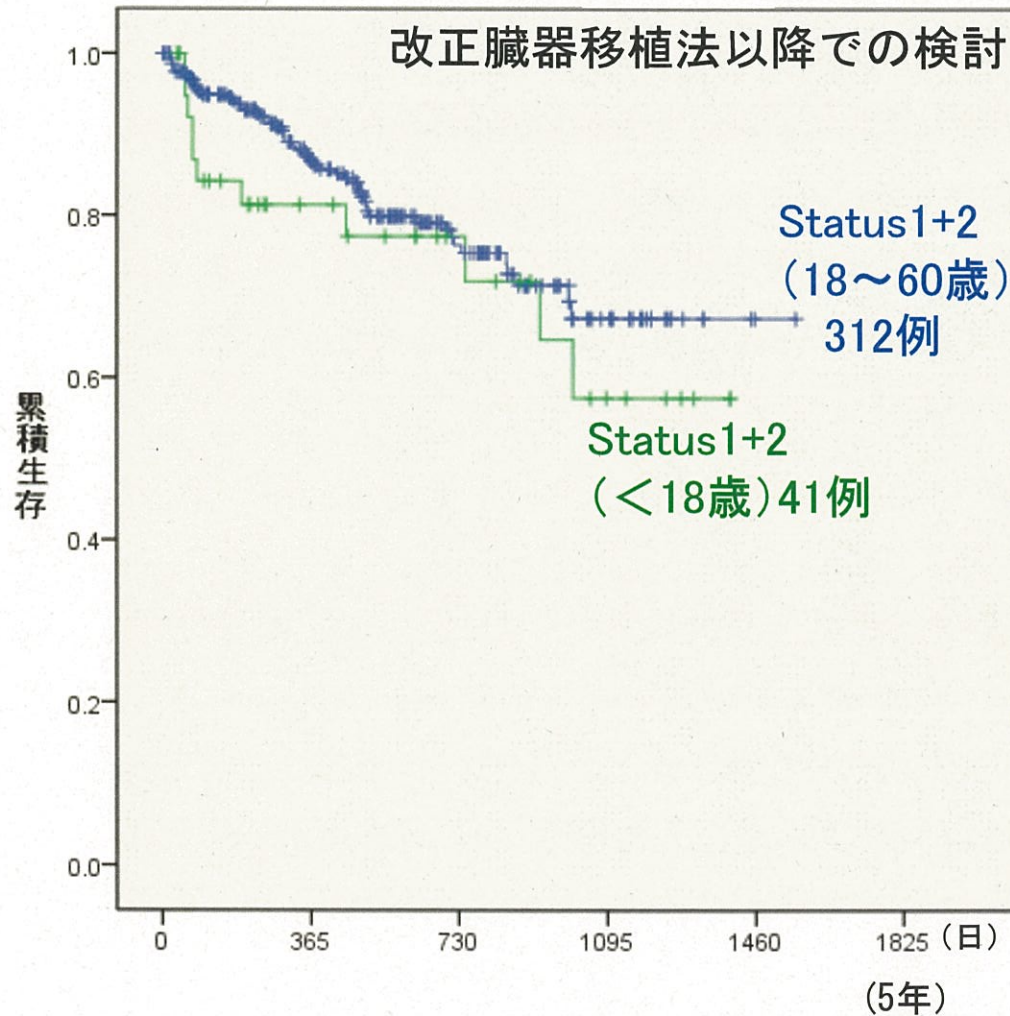
- 成人と小児における日本循環器学会心臓移植申請受付以降の予後について、改正臓器移植法以降の症例に限定し検討した。
- 改正臓器移植法施行以降に、成人では65歳未満まで申請範囲が広がられたが、条件を一定にするため、成人は受付時60歳未満までとした。

Endpointを国内移植、渡航移植に至らず、死亡とした
On-List-Deathの検討

18～60歳未満の受付時Status 1	238例(18～59、平均41.3歳)
18歳未満の受付時Status 1	28例(0～17、平均8.9歳)
18～60歳未満の受付時Status 2	74例(18～59、平均43.7歳)
18歳未満の受付時Status 2	13例(1～16、平均5.9歳)

成人と小児における生存曲線

On-List-Deathの検討

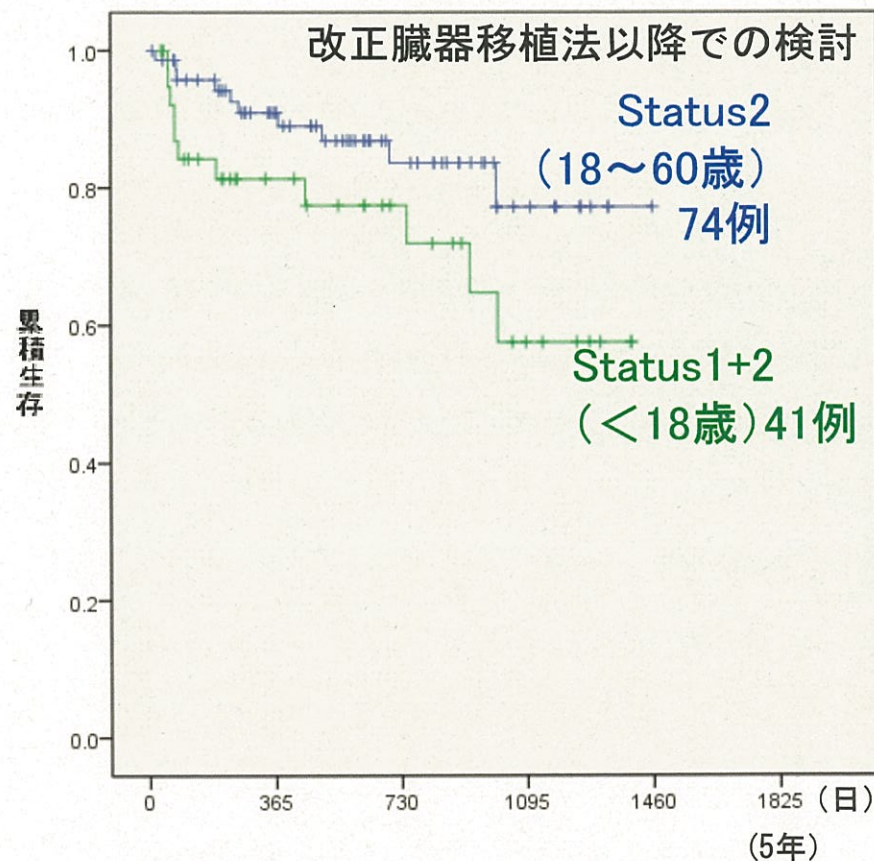
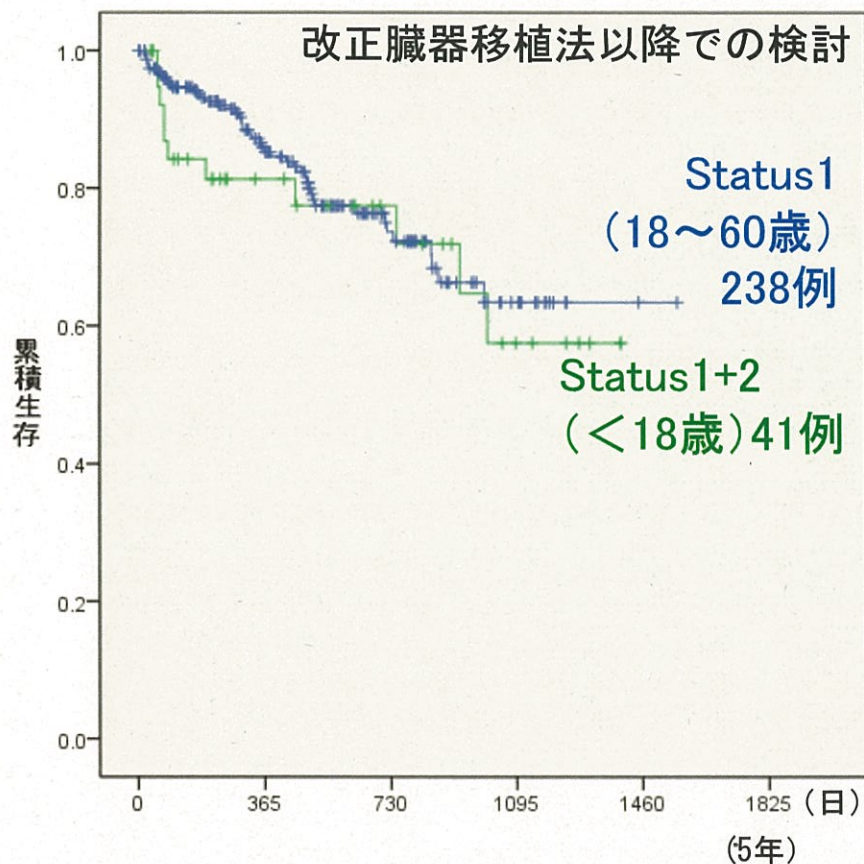


国内移植、渡航移植に至らず、死亡した、On-List-Deathの成人全体と小児全体での検討では、

小児全体(Status1+2)の予後曲線は、成人全体(Status1+2)より、下回っている。

成人と小児における生存曲線

On-List-Deathの検討



国内移植、渡航移植に至らず、死亡とした、On-List-Deathの小児全体(Status1+2)の成人Status1、Status2に対する検討では小児全体(Status1+2)の予後曲線は、成人Status1、Status2のそれぞれの曲線より下回っている。

27.5.19「心臓移植の基準等に関する作業班」布田班員提出及び関連追加資料 5